

第5学年 総合的な学習の時間等 学習構想案

菊池市立菊之池小学校 教諭 小田 智史

1 単元構想

単元名	育てて未来につなげよう 菊池のお米		
単元の目標	米づくりを通し、ふるさと「菊之池」の人やものと出会い、自分たちの身近な社会や自然環境への関心を高め、自他とともに大切にできる態度を養う。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 米づくりの一年間の作業内容について理解している。 ② 地域の農家の方の話を聞いて、農家の方の工夫や苦勞を理解している。 ③ 炊飯の手順を理解し、適切に炊飯することができる。	① 菊之池のお米づくりについて学び、地域の産業について考えたことを伝える方法を考えて発信している。 ② 収穫したお米を役立てる方法について、地域に貢献するため、学校のためという視点をもって考えている。	① 収穫したお米を地域の人のために役立てようとしている。 ② 菊池のお米づくりについて学んだことを生活に生かしたり、発信したりしようとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
○地域の産業にほこりをもち、そのよさを守ろうとする児童 ○協力して行動することで、伝えたいことを伝えたり、人の役に立つ行動をしたりしようとする児童			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
菊之池の米づくりについて考えよう		地域の産業のよさについて考え、それを守っていくことに必要性や、地域の人のために役立つ行動をすること、協力して取り組むことのよさを考えること。	
指導計画と評価計画（40時間取扱い）			
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	16	① 【総合】ふるさと菊池のお米について知る。（1h） ② 【社会】お米づくりの作業内容を知る。[「米づくりのさかんな地域」教育出版（11h）] ③ 【総合】田植え体験をする。（2h） ④ 【総合】農家の方を招き、お米づくりの工夫や苦勞を聞く。（1h） ⑤ 【総合】ふるさと菊池のお米づくりを後世につないでいくために、今の自分にできることは何かを考える。（1h）	【知①】（ノート・発言） ○お米づくりの作業内容を理解している。 【知②】（シート・発言） お米づくりについて気になることを農家の方に質問し、その内容を理解している。 【態②】（シート・発言） お米づくりを後世に伝えていくために、これまで学んだことを生かしながら自分にできることを考えている。
二	13	⑥ 【総合】稲刈り体験をする。（2h） ⑦ 【総合】収穫したお米をどうするかを考える。（1h） ⑧ 【家庭】鍋での炊飯を体験する。[「食べて元気！ご飯とみそ汁」東京書籍（10h）]	【態①】（シート） 収穫したお米を地域の人のために役立てるためにはどうすればいいかを考えている。 【思②】（発言） 収穫したお米を地域の人のために役立てるためにはどうすればいいかを考え、発信している。 【知③】（ノート・行動観察） 炊飯の手順を理解し、正しい手順で炊飯することができる。

三	1 1	<p>⑨ 【総合】学習発表会での学びの発信に向け、どんなことを伝えたいかを考える。(2h)</p> <p>⑩ 【総合】学習発表会での黒米販売に向けた準備をする。(2h)</p> <p>⑪ 【総合】学習発表会に向けて発表練習をする。(4h)</p> <p>⑫ 【総合】学習発表会で、ふるさと菊池のお米づくりについて発表する。(2h)</p> <p>⑬ 【学活】給食ありがとう(1月・全国学校給食週間)(1h)</p>	<p>【態②】(シート・発言) 学習発表会で、どんな内容を発信するとよいかを考えている。</p> <p>【思①】(行動観察) 学習発表会で、他学年や保護者、地域の方々に向けて、本単元での学びを発信している。</p>
---	-----	---	---

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)	
<p>小学校学習指導要領第1の目標を受け設定された本校の総合的な学習の時間の目標「探究的な見方や考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにする」をもとに、育成を目指す具体的な資質能力を設定し、単元を構成している。</p>	
教材・題材の価値	
<p>本題材の主なねらいは、地域の基幹産業である農業についての理解を深めることである。農業は、今日、後継者不足や耕作放棄地の増加、気候変動、食文化の変化など、さまざまな課題に直面している。本単元で扱う米づくりも例外ではない。また、近年では米の価格高騰を背景に、日本人の主食としての米の価値や生産現場への関心が高まっている。</p> <p>本校は菊池川流域に位置し、校区では盛んに米づくりが行われている。しかし、児童の家庭の中に農業を生業としている家はほとんどなく、地域の特徴である米づくりが身近に感じられていないという現状がある。</p> <p>そこで本題材の学習では、地域の自然条件や生産者の工夫、米づくりに込められた思いに触れることで、ふるさと菊池の農業(特に米づくり)への理解を深め、地域の良さや価値に気付くことを目指す。また、米づくりを次世代につなぐことの大切さについて考える学習となるよう構成する。</p>	
本単元における系統	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>5年「水俣に学ぶ」 水俣病の発生と水俣の人たちの取組を知り、環境と人権について考える。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>6年「創作！延寿太鼓」 ふるさと菊池の歴史を調査し、先人の生き方に触れ、ふるさとにほこりをもつ。</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>4年「菊池の龍伝説」 菊池に伝わる龍を知り、菊池に誇りをもつ。龍伝説をもとに地域を盛り上げようとしている活動を知り、できることを考える。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>5年「育ててつなぐ菊池のお米」 菊池のお米づくりについて学び、お米づくりの工夫や苦勞、次世代へつなぐことについて考える。</p> </div>
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)	
<p>児童は、3年生での総合的な学習の時間において、地域の特産物である水田ごぼうについて調べ、4年生では菊池の龍伝説について調べるなど、地域についての学習を深めている。5年生では、総合的な学習の時間で水俣の環境保護の歩みを学び、人間は自然と共に生きる存在であること、その自然は意識して守っていかねばいけないことを学んだ。本題材では、地域の基幹産業である農業、特に米づくりについて学び、身近な地域にも自然と共に生きる人がいること、地域に生きる存在として、米づくり産業の特徴や、米づくり産業を守るためにできることがあることを学んでもらいたい。</p>	

3 指導に当たっての留意点

- 可能な限り地域の農家の方に協力をいただき、専門的な知識や生きた経験を学習に取り入れることで、児童の理解をより深め、地域への関心を高める。
- 田植えや稲刈り、鍋での炊飯体験（家庭科）など、さまざまな教科で多くの体験活動を設定することで、児童の学ぶ意欲を高める。
- 学習発表会では、児童が自分たちの学びを振り返り、伝えたい内容を自ら考えて選択させることで、主体的な表現と学びの深化を促す。
- 単元の学習の開始時と終了時に、「菊池のお米についてどう思うか」という問いに対する回答をワークシートに記述させ、両者を比較することで、自己の学びを自覚させるとともに、考えの変容を看取る。

4 ESD の視点

- ・相互性：過去から続くお米づくりが現在のお米づくりにつながっている。同様に、現在のお米づくりは未来のお米づくりにつながっている。
- ・連携性：個の農家が努力するのではなく、菊池でお米づくりをする農家が協力しあってよいお米を作ろうとしている。
- ・責任性：菊池のお米づくりを未来に繋いでいくためには、ゴミ捨てをしないなど地域の環境を守ること、お米を購入する際は地域のお米を選ぶなど地産地消を進めることなど、個々人の行動が関わっている。

5 ESD で育てたい資質・能力

- ・未来を予測して計画を立てる力
現代社会の課題を知った上で、近い将来菊池で起こりうるお米づくりに関する課題について想像し、その課題解決のために今できることはなにかを考えることができる。
- ・つながりを尊重する態度
地域の主要産業である農業について知ること、農業を生業とされている方々と関わることを通して、地域とのつながりを構築することができる。
- ・進んで参加する態度
お米づくりは自身の生活と関係していることに気付き、お米づくりを守るための行動をとることができる。

6 ESD で育てたい価値観

- ・世代間の公正
これまで長く受け継がれてきた菊池のお米づくりは、次の世代に引き継いでいく責任がある。
- ・自然環境、生態系の保全を重視する。（生物多様性の重視）
個々の行動が、菊池のお米づくりに関係している。

7 関連する SDG's

- ・目標 12：生産と消費
- ・目標 13：気候変動
- ・目標 15：陸上資源

